

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	舞踊	種目	現代舞踊
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい かるていべいと		
	制作団体名	特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト		
	代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明		団体ウェブサイトURL <a href="https://npo-cultivate.org/">https://npo-cultivate.org/</a>
	制作団体所在地	〒 227-0062	最寄駅(バス停)	東急電鉄田園都市線青葉台駅下車 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい かるていべいと		
	公演団体名	特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト		
	代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明		団体ウェブサイトURL <a href="https://npo-cultivate.org/jyunkai.php">https://npo-cultivate.org/jyunkai.php</a>
	公演団体所在地	〒 227-0062	最寄駅(バス停)	東急電鉄田園都市線青葉台駅 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607
	制作団体 設立年月	平成23年10月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事／堅田 政明 理事／谷口 修 理事／水田 晶博 監事／長谷川 茂 顧問／姉小路公孝	代表理事(1名):理事(2名)、事務局(3名) 理事会:運営委員会 企画部門:プロジェクトチーム編成 (制作、演出、スタッフ、キャスト、ダンサー他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次公演実施ブロック・地域対象のオーディションを行い決定しています。	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	堅田政明
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	堅田浩巳
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス <a href="mailto:hkatada12@gmail.com">hkatada12@gmail.com</a>	電話番号 09080485898	

## 制作団体の実績

<b>制作団体沿革・主な受賞歴</b>	<p>■ 法人設立 平成23年10月(横浜市)  <b>・主な沿革・実績</b>          1) 平成24年11月、文化庁「芸術家の派遣事業」にて、現代舞踊分野のヒップホップダンサーを市立中学校(横浜市青葉区)の体育(教科)として授業に学校長要請により、外部講師として正式派遣を開始。          2) 以後、全国各地域(北海道から鹿児島)の小中高校及び特別支援学校にトップレベルのプロダンサーを派遣し、高い評価を獲得。特に西日本地域において、本派遣事業に他分野の演目を加え、多くの学校の希望により継続的に実施。          3) 平成27年11月、学校巡回公演:現代舞踊『これがヒップホップダンス!』初年度上演開始。          4) 以後、令和7年11月まで11年間で全国の10地域で約200校の小中学校・特別支援学校にて学校巡回公演を実施。</p> <p>■ 特記事項          現在、本学校巡回公演事業に於ける現代舞踊(ヒップホップダンス・ストリートダンス)分野で唯一の制作・巡回公演実施団体として活動。文化庁事業の芸術家派遣事業やコミュニケーション能力向上事業を推進するとともに、複数の文化施設等活用事業に於いても活動領域や分野を広げ各地域や、様々な公私立学校の種別等にも幅広く活動し、多数の学校現場で高い評価と信頼を得ています。</p>
<b>学校等における公演実績</b>	<p>■ 現代舞踊:ストリートダンス公演実績          現代舞踊:ストリートダンス公演の制作団体として、この11年間で全国の小中学校等において約200校で世界トップレベルのヒップホップダンス公演を実施。</p> <p>■ 学校巡回公演-各年度別実績  <b>演目:現代舞踊「これがヒップホップダンス!」</b>          ・平成27年(5-6月)21校 ・平成28年(5-6月)17校 ・平成29年(5-7月)14校          ・平成30年(5-7月)21校 ・令和元年(5-7月)14校 ・令和2年(6月-3年3月)26校          ・令和3年(10-11月)22校 ・令和4年(6-10月)8校 ・令和5年(10-11月)8校          ・令和6年(10-11月) 8校 ・令和7年度(6月-11月)13校  <b>【合計:173校実施】</b>          又、上記外演目で演劇分野『浜田広介童話集』やユニバーサル公演や文化施設等活用公演では『ぼくらしくキミらしく』、『ダンスエンターテイメント!』、『THE DANCE SHOW3:ザ・ダンスショー2023』、『何かようかい』、『鬼は花』等を希望されるさまざまな学校や地域社会と連携しで公演を行い各地域・地方の文化と教育振興に役立て頂いています。</p>
<b>特別支援学校等における公演実績</b>	<p>文化庁事業(芸術家派遣事業/コミュニケーション能力向上事業/ユニバーサル公演事業)として、法人設立直後より特別支援教育分野での公演活動を継続実施中です。</p> <p>■ 初期実績(設立直後～)          ・実施校:横浜市立市ヶ尾中学校、同市立中川西中学校、神奈川県立横浜南養護学校等          ・対象:個別支援学級(特別支援学級)及び病院内小中学校          ・内容:プロダンサーによる『ダンス鑑賞と体験型ワークショップ授業』を実施。特に重複障がい児童生徒の特別支援学校でのワークショップ授業を継続実施</p> <p>■ 学校巡回公演実績          ・平成27年度:福島県立大笹生養護学校、石川養護学校で公演実施          ・平成30年度・31年度:神奈川県立麻生養護学校、広島県立三原特別支援学校等、毎年度複数の支援教育校で学校巡回公演を実施し、児童生徒及び教員から高評価を獲得</p> <p>■ コミュニケーション能力向上事業          ・平成29年度～:前述の特別支援学校で継続実施          ・毎年度大阪府立の各支援学校や複数の新潟県立特別支援学校、更に京都市立中学校等も加わり、東西各地での取り組み成果が公演事業に多面的にフィードバックされ好循環を実現</p> <p>■ 継続的な取り組み          ・日本各地の特別支援学校でコミュニケーション能力向上事業、ユニバーサル公演事業、各種演劇等を毎年度幅広く実施し、豊富な公演実績を積み重ねています。</p>

<b>参考資料</b> <b>申請する演目のWEB公開資料</b>	有
<b>※公開資料有の場合URL</b>	<a href="http://npo-cultivate.org/">http://npo-cultivate.org/</a>
<b>※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード</b>	ID: <input type="text"/> PW: <input type="password"/>

別添

あり

【公演団体名 特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト】

対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>
企画名	-日韓トップダンサー夢の競演-『これがヒップホップダンス!』			
企画のねらい	<p><b>【企画の狙い】</b></p> <p>1)国内での広がり この数年でストリートダンスは、一部の愛好家や若者文化の象徴から、世界中の多くの人々に支持される大衆文化へと成長しました。2024年パリオリンピックでは、ヒップホップダンスの一種であるブレイキン(ブレイクダンス)が正式競技種目として初めて採用され、日本代表選手が活躍、女子部門では日本人選手が銅メダルを獲得するなど、世界トップレベルの実力を示しました。この快挙により、ストリートダンスへの注目と関心はさらに高まっています。</p> <p>2)ダンスの持つ魅力 日本のストリートダンスのレベルは、多くの若手ダンサーの活躍により世界的に高く評価されています。ダンスは健康促進、自己表現の手段、そして文化芸術として社会に広く浸透してきました。本公演は、子供たちにその魅力を直接伝えるとともに、異文化理解や国際的な交流への関心を育む機会を提供することを目指しています。</p> <p>3)学校・授業での広がり 日本国内では、2012年度から中学校の体育の授業でダンスが必修化され、小中学校の児童・生徒がダンスに取り組む機会が大幅に増加しています。このような教育環境と、オリンピック競技としての認知度の高まりを背景に、本公演では、次世代の子供たちにストリートダンスの高度な技術や表現の自由さを体感させ、スポーツと文化芸術の両面からダンスの魅力を理解してもらうことを狙いとしています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p><b>【演目概要】</b></p> <p>1)トップダンサーによる本格的なパフォーマンス 本公演では、日韓のトップダンサーが多様なヒップホップミュージックに合わせてダンスを披露します。児童・生徒は、躍動感あふれるリズムに乗った運動技術と身体表現力を目の前で体感し、ダンスの魅力を直接学ぶことができます。</p> <p>2)体験型ワークショップと国際文化交流 ワークショップでは、参加した児童・生徒達が実際に体を動かしながらダンスの楽しさを実感します。日韓のダンサーが共演することで、ダンスを通じた文化交流が促進され、国際的な視点から異文化理解を深める機会を提供します。競技性と芸術性を融合させたステージは、子供たちに新たな気づきと感動をもたらします。</p> <p>3)次世代に向けた文化芸術体験 学校現場で本格的に導入され、浸透してきたダンス教育をさらにプラスアップし、次世代を担う児童・生徒に向けて提供します。世界に誇れる日本人トップダンサーに加え、文化交流の歴史が長い韓国のトップダンサーも参画。特に来日経験が豊富で、日韓合同ステージの実績を持つダンサーを起用しています。優れた文化・芸術性を持つこのチームが、他では決して得ることができない驚きと楽しさあふれる交流体験・感動を提供し、子供たちがもっとダンスを、体を動かしたくなるような、熱気と興奮に満ちたステージをお届けします。</p> <p>本公演の詳細な構成内容については、<a href="#">⇒【別添No.2-②】</a>をご参考ください。</p> <p><b>【演目選択理由】</b></p> <p>・ヒップホップダンスを選択した背景・理由</p> <p>1)ストリートダンスの急速な普及と社会的認知の高まり 児童・生徒をはじめ、様々な分野や世代において、ストリートダンス・ヒップホップダンスの認知が急速に広がり、全国的に定着しています。2024年パリオリンピックの開会式が世界中の人々に示したように、ストリートダンスの国際性と文化・芸術性への理解と評価が高まっています。さらに、2012年度から中学校で「ダンスが必修化」されたことに伴い、社会的にも大きく注目され、幅広く若年層から中高年齢層まで、ダンスを認知し、特に自ら取り組む姿が多く見られるようになりました。</p> <p>2)日韓文化交流を通じた国際理解の促進 世界の大会で日本勢とともに上位を競う韓国のトップダンサーも本公演に参画します。ダンスパフォーマンスの披露だけでなく、生徒たちとの交流・触れ合いを通じて、互いの文化を知り、相互に理解し合い、友情を育むことの大切さを学びます。ダンスという共通言語を通じた国際交流の体験は、子供たちにとって貴重な学びの機会となります。</p> <p>3)文化庁事業における実績 現在、文化庁事業である『学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業』においても、ヒップホップダンスの鑑賞・体験型授業を小中学校等で複数地域(大阪府ほか全国各地)にて実施し、好評を得ています。<a href="#">⇒【別添No.2-①】</a></p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p><b>【児童・生徒の参加又は体験の形態】</b></p> <p>事前のワークショップでの初めてのダンス体験から、本公演本番でのダンス参加まで、児童・生徒へのダンス指導とトッププロダンサーとのコミュニケーションや相互交流が多数の機会で行われます。</p> <p>1)鑑賞・参加体験 世界レベルのダンス公演の鑑賞、本公演でのダンス参加、事前ワークショップでのチーム別成果発表会、学年・クラス・グループ合同でのダンス参加体験を実施します。</p> <p>2)教職員の参加 教職員の方々も児童・生徒とともにワークショップや公演時にダンスに参加いただけます。多くの学校公演で校長先生や教員の方々が舞台上でパフォーマンスを披露され、「児童・生徒とのコミュニケーションが活発になった」との感想を多数いただいております。</p> <p>3)国際交流・舞台芸術体験 日韓ダンサーとの質疑応答や文化交流会を実施します。ご希望により、ステージアート(舞台芸術・技術)体験やステージ設営体験(舞台づくり、照明、音響等)も可能です。公演やワークショップで使用する音楽を校内放送で流し、生徒たちに親しんでいただくことで、より高い効果が期待できます。</p>			

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	学校のご希望により検討します	
		鑑賞人數目安	10~800名程	
本公演演目  原作/作曲 脚本 演出/振付	<p style="text-align: center;"><u>学校巡回公演 (2026)</u></p> <p>・企画: 堅田 浩巳 　・制作: 堅田 政明 　・監修: 姉小路公孝</p> <p style="text-align: center;">-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス!』</p> <p>・構成/演出: 今城 裕治 ・振付: 江頭 耕治</p>			
	公演時間	90	分	
出演者	<p style="color: red;">※⇒別添No.2-③『出演者リスト』(予定)をご覧ください。</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p><u>堅田 浩巳</u>: 総合プロデューサー 制作団体法人設立代表者/本公演企画並びにプロデュース 他演劇、児童劇、ミュージカル公演他多数の公演プロデュースを行う。 <u>今城 裕治</u>: 構成演出 (株)オーパス代表/文化庁: 本学校巡回公演: 構成演出/大規模スポーツ催事等多数制作し、構成演出も行っている。 <u>江頭 耕治</u>: 演出振付 (株)演舞麗夢代表/『THE BATTLE』(民音ステージ)で海外(米・露・中・韓)トップダンサーと全国ツアーで共演多数。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: スタッフ: 合 計:	10 名 16 名 26 名	運搬	積載量: 車 長: 台 数: 4 t 8.64 m 1 台
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間
	到着	仕込		3 時間程度
	午前8時	午前8時~午後0時	午後1時30分~ 午後3時	午後3時30分~ 午後4時30分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。			
本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月	8月
	20日		10日	3日
	10月		11月	12月
	20日		20日	1月
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計 133日

本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡



著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名	楽曲（一部除く）
	該当事項がある場合	権利者名			
		Jasrac		許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p><b>【ワークショップのねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンサーチームのリーダーによるわかりやすい説明とダンス指導を行います。</li> <li>・ストリートダンスの基礎(ストレッチ・ステップ・基本動作)を学びます。</li> <li>・ストリートダンス応用編:振付やチームでの表現に取り組み、<u>本公演</u>に向けた練習を行います。</li> </ul> <p>所要時間は約90分を予定していますが、教員の方々とご相談の上、調整も可能です。 また、当日のスケジュールや会場の状況確認や楽屋等に関する打ち合わせも併せて行います。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	数名～800名以上も可
	<p><b>【事前打ち合わせ等準備】</b></p> <p>特に担当教員の方々と、児童・生徒に対する配慮事項の有無を含め、十分な打ち合わせ・調整を行います。</p> <p>現在、個別にダンサーがボランティア等でダンス指導に伺っています。また、平成27年度から令和7年度の学校巡回公演においても、複数の公立・私立特別支援学校でワークショップと上演を行ってまいりました。さらに、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家の派遣事業(文化庁)では、小中学校の個別支援学級(特別支援学級)等で授業を多数実施し、大変好評を得ています。参観された保護者の方々からも高い評価を頂き、平成29年度からは、より高度なスキルが求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)にも採択され、令和4年度には全国10校以上で実施を行っています。</p> <p>各校の先生方も、支援を必要とする児童・生徒たちも、音楽や体を動かすことが大好きで、プロダンサーとの交流をとても楽しみにしています。私たちもこの学校公演を通じて、児童・生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れてヒップホップ・ストリートダンスの楽しさを体感していただきたいと強く願っています。</p> <p><b>【実施形態及び内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンサーチームのリーダーによる実施内容の説明とダンス実技の指導を行います。</li> <li>・ストリートダンスの準備運動(ストレッチ)、その後、ステップ・動作の基本を学びます。</li> <li>・ストリートダンス応用編:振付やチームでの表現に取り組み、<u>本公演</u>に向けた練習を行います。</li> </ul> <p>所要時間は約90分(標準:2コマ)を予定していますが、上記内容とともに教員の方々とご相談の上、調整も可能です。また、当日のスケジュールや公演会場の下見・確認、楽屋等に関する打ち合わせも併せて行います。</p>			
	ワークショップ実施形態及び内容	<p><b>■事前ワークショップの実施の様子</b></p> <p>中学校</p>  <p>特別支援学校(小学部)</p> 		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p><b>【事前打ち合わせ等準備】</b></p> <p>特に担当教員の方々と、児童・生徒に対する配慮事項の有無を含め、十分な打ち合わせ・調整を行います。</p> <p>現在、個別にダンサーがボランティア等でダンス指導に伺っております。また、平成27年度から令和7年度の巡回公演事業等においても、複数の公立・私立特別支援学校でワークショップと上演を行ってまいりました。さらに、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家の派遣事業(文化庁)では、小中学校の個別支援学級(特別支援学級)等で授業を多数実施し、大変好評を得ています。参観された保護者の方々からも高い評価を頂き、平成29年度からは、より高度なスキルが求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)にも採択され、令和5年度には全国10校以上で準備・実施を行っています。</p> <p>各校の先生方も、支援を必要とする生徒たちも、音楽や体を動かすことが大好きで、プロダンサーとの交流をとても楽しみにしています。私たちもこの学校公演を通じて、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れていただき、ヒップホップ・ストリートダンスの楽しさをぜひ体感して頂きたいと強く願っています。</p>			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名】特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。		
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。					
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。					
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。					
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。					

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	電源車を使用します	A以上
	舞台設置面積	間口	8 m	奥行	4 m
		高さ	指定なし m		
	舞台設置場所	フロア対応	条件なし	学校のステージでの対応	条件なし
	搬入間口の広さ	幅	3～4 m	高さ	2～3 m
	遮光の要否	5割程度必要	緞帳の要否	無くても良い	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否	要	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	10 m以内	
	搬入車両の種類	大型トラック	台数	1.5 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	8.5 m
	備考				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	ワークショップ時に舞台制作スタッフが講師と同行し、会場等の状況を確認させて頂きます。			

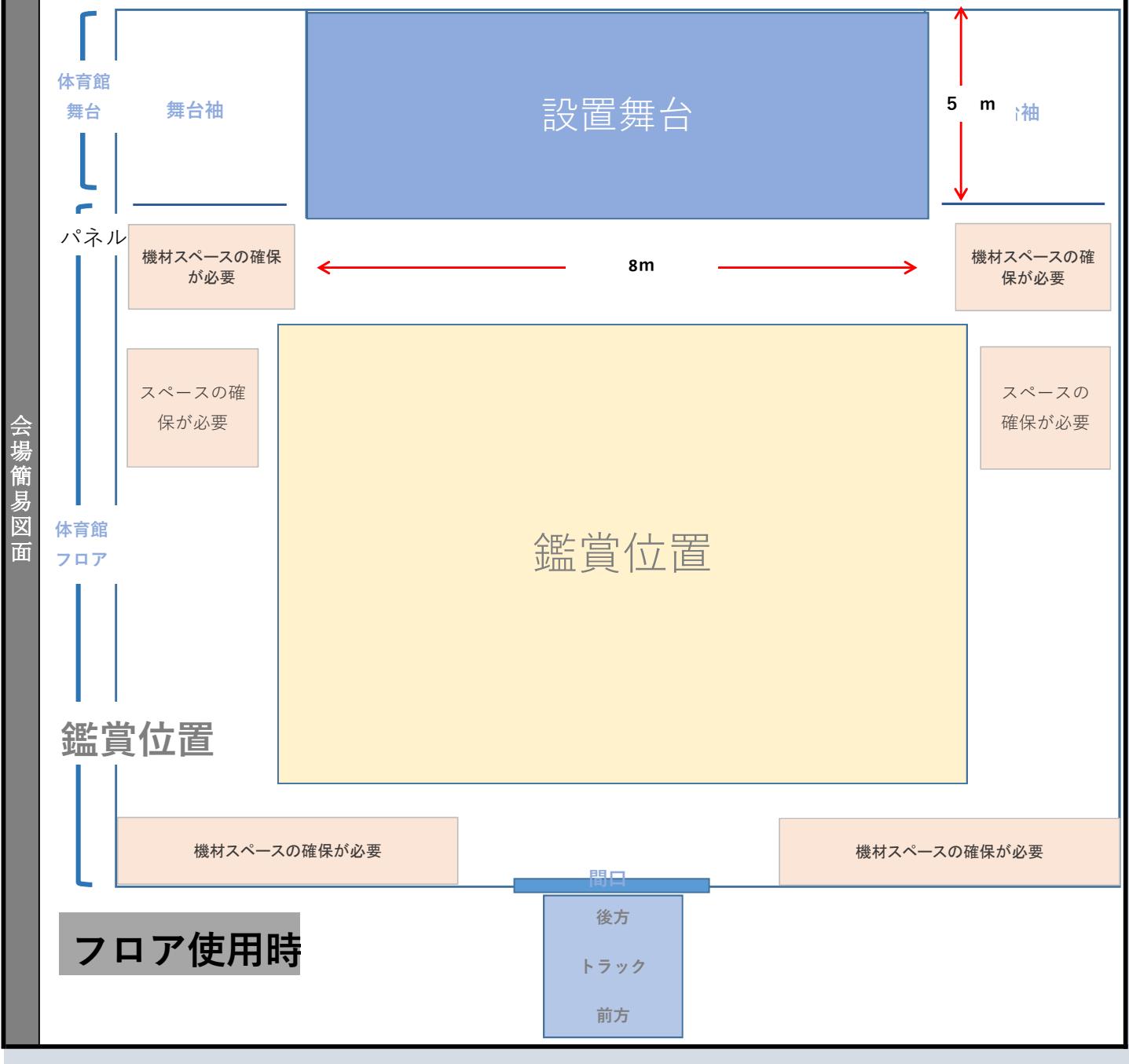
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。			
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
	ワークショップ				
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
3		

(任意)

会場条件について最低限必要な条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

## ・本事業を通じて実現したいこと

## 背景:ダンスの社会的認知の広がりと深化

本事業申請の背景には、ダンスのさらなる社会的認知の広がりと浸透があります。平成24年度の中学校「ダンス必修化」により、幅広い世代にダンスが認知されるようになりました。2018年ブエノスアイレス・ユースオリンピックでのブレイキン競技種目採用と日本人ダンサーの活躍、そして2024年パリオリンピックでは正式競技種目として採用され、日本人女子選手が銅メダルを獲得するなど、世界トップレベルの実力を示しました。

これにより、ヒップホップダンスへの認知度はさらに高まり、都市部のみならず日本各地のダンススタジオで子供たちを中心とした指導の需要が増加しています。現在も日本人ダンサーは若手を含め世界で活躍し、高度な技能・芸術性で世界のダンス界をリードしています。

## 本公演で実現を目指すこと

本学校巡回公演では、ダンスという文化芸術を通じて、次世代を担う子供たちに以下の機会と体験を提供します。

## 1)文化・芸術への理解と感性の育成

- ・優れた文化・芸術への関心の深化
- ・将来の芸術家育成の土台づくり
- ・文化・芸術鑑賞力のさらなる向上

## 2)健康増進と体力向上

- ・健康な体づくりと体力向上への取り組み
- ・音楽に合わせた運動技術と身体表現力の習得
- ・ダンスを通じた運動の楽しさの実感

## 3)コミュニケーション能力とチームワークの向上

- ・ワークショップを通じた子供たちのコミュニケーション能力の向上
- ・複数名で取り組むダンスでのチームワークの大切さの体感
- ・自らがリーダーシップを発揮しチームを創る力の育成・向上

## 4)国際文化交流と異文化理解の促進

- ・日韓トップダンサーの共演による文化交流の現場体験
- ・ダンスという共通言語を通じた国際交流の重要性の学び
- ・他国の文化を知り、相互に理解し合い、友情を育むことの大切さの体感
- ・誇るべき日本文化を踏まえた国際交流の実践

## 5)時代に即した文化芸術体験の提供

- ・オリンピック競技としても認知されたブレイキンを含むストリートダンスの体験
- ・競技性と芸術性を融合させた最先端のステージ表現
- ・文化・芸術分野の新たな潮流と先駆的な内容の提供

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

本公演は、これらの体験を通じて子供たちに驚きと感動を与え、文化芸術への関心を高め、健全な心身の成長を促し、国際的な視野を育む、まさに時を得た機会です。私たちは、次世代を担う子供たちにこの貴重な体験を届けるため、本学校巡回公演に全力で取り組んでいます。

## 事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

<p><b>【上記の実現に向けて、実施の工夫】</b></p> <p><b>【実現に向けた実施の工夫】</b></p> <p><b>※基本方針:信頼関係の構築と綿密な事前準備</b></p> <p>平成27年度から令和7年度まで実施してきた巡回公演、ワークショップ、芸術家派遣事業等の経験から、実施校を訪問し、担当教員との打ち合わせを重ね、要望を十分に汲み取り、信頼関係を構築することが最も重要と認識しています。</p> <p><b>1)効果的・円滑な実施のための工夫</b></p> <p>教員や子供たちの希望によりダンサーと共に演できる場面を協議の上実施し、事前ワークショップの学びを本公演での参加体験につなげます。地域内で学校別チーム(生徒・教員・PTAチーム)によるダンスコンテスト開催など地域参加型の取り組みや、ダンサーが教員と協働した文化芸術関連授業により、生徒の学習意欲と参画意識を向上させます。</p> <p><b>2)ワークショップ実施における工夫</b></p> <p>ダンスの文化的・歴史的背景を多文化共生の観点から捉え、座学と実技を組み合わせて興味を高めます。継続的な実施により内容の深化と質の向上を実現し、子供たち自身が文化・芸術分野への影響を調べるなど学習意欲を高めます。ご希望により、使用音楽の校内放送やステージアート体験(舞台づくり、照明、音響等)も実施可能です。</p> <p><b>3)事後評価と継続的改善</b></p> <p>本公演後、生徒、教員、PTA、保護者へのアンケート・ヒアリング調査を実施し、生徒たちの関心事や授業への取り組み態度の変化、ダンスへの関心の変化を検証します。</p> <p><b>4)安全・安心な実施体制</b></p> <p>学校、PTA、地域社会等の関係者と、事前事後ともにダンサーとスタッフとの相互間で情報を共有し、常に意思疎通を図ります。改善を重ねることで、実施校の期待に応え、安心・安全を踏まえた円滑な実施とさらに高い効果性を実現します。</p> <p><b>5)特別支援学校等での配慮</b></p> <p>児童・生徒への配慮事項を含め十分な打ち合わせ・調整を行います。複数の特別支援学校での実績があり、文化庁事業においても個別支援学級等できめ細かな対応を行い、高い評価を頂いています。</p>
<p><b>【学校との連絡調整について】</b></p> <p>①平成27年度から令和7年度まで実施してきた巡回公演、ワークショップ、芸術家派遣事業等の豊富な経験から、実施校との取り組みにおいて最も重要なことは、スタッフが実施校を訪問し、担当教員とのヒアリングや打ち合わせを重ね、要望・希望を十分に汲み取り、強固な信頼関係を構築することと認識しています。</p> <p>②事前に複数回の打ち合わせを実施し、実施校の状況(児童・生徒数、会場、設備、スケジュール等)を詳細に把握します。ワークショップと本公演の連動性を高めるため、教員や子供たちの希望によりダンサーと共に演できる場面を協議・相談の上で実施し、使用音楽を事前に提供して校内放送で流していただくことで効果を向上させます。</p> <p>③学校、PTA、地域社会等の関係者と、事前事後ともにダンサーとスタッフとの相互間で情報を共有し、常に意思疎通を図り、改善を重ねることで、実施校の期待に応え、安心・安全を踏まえた円滑な実施を実現します。</p>
<p><b>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</b></p> <p>①対象となる児童・生徒の年齢、発達段階、特性に応じて、ワークショップと本公演の内容を柔軟に調整します。特に担当教員と、児童・生徒への配慮事項を含め十分な打ち合わせ・調整を行います。</p> <p>②ダンスの文化的・歴史的背景を多文化共生の観点から捉え、座学と実技を組み合わせて楽しみながら興味を高め、基礎から応用まで段階的に学べる構成とします。特別支援学校等では、複数校での実績を活かし、個別支援学級等できめ細かな対応を行います。</p> <p>③ダンサーが教員方と協力しながら文化芸術関連の授業を行い、児童・生徒の学習意欲と参画意識を高めます。教職員も児童・生徒とともにダンスに参加でき、多くの学校で「児童・生徒とのコミュニケーションがとても活発になった」との感想を多数頂いています。</p>
<p><b>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</b></p> <p>①本公演後、生徒、教員、PTA、保護者に対するアンケート調査及びヒアリング調査を実施し、生徒の関心事の変化、文化・芸術に関する授業への取り組み態度の変化、ダンスへの関心の変化などを多角的に検証します。</p> <p>②調査結果を分析し、次回以降の実施に活かします。地域的な連続性により内容の深化と質の向上を実現し、子供たち自身が文化・芸術分野への影響を調べるなど学習意欲を高める取り組みが可能となります。地域内で学校別チームによるダンスコンテスト開催など、地域活動に寄与する取り組みや、使用音楽を体育授業や課外活動で活用いただくことも可能です。</p> <p>③本公演を通じて得た国際交流の経験を総合的な学習の時間等で発展させ、子供たちの文化・芸術への関心を深め、健全な心身の成長を促し、国際的な視野を育む継続的な学びにつなげることを目指します。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名】 特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト】
演目選択理由補足		<p>■ 本学校公演では、ヒップホップダンスを通じて、次世代を担う児童・生徒に以下の5つの重要な体験と学びを提供します。</p> <p>1)世界レベルの文化・芸術体験 世界トップレベルのダンサーによる本物の舞台芸術に触れることで、優れた文化・芸術への関心を深め、将来の芸術家育成の土台づくりや文化・芸術鑑賞力の向上を図ります。</p> <p>2)健康増進と体力向上の意識醸成 ダンスを通じて、健康な身体づくりや体力向上への取り組みの重要性を楽しみながら理解し、生涯にわたって運動に親しむ姿勢を育みます。</p> <p>3)コミュニケーション能力の向上 ダンスレッスンを通じて、チーム内や相互のコミュニケーション能力を高め、協働することの意義と喜びを実感します。</p> <p>4)国際文化交流と多様性の理解 隣国である韓国とのトップダンサーとの交流を通じて、相互のコミュニケーションの重要性や文化の多様性を体感します。国籍や民族が異なっていても、同じ地球に住む人間同士であることを実感し、国際的な視野と相互理解の精神を育みます。</p> <p>5)チームワークの大切さの体得 ワールドカップやオリンピック等のスポーツでも注目される日本の「チーム力」。複数名で組むダンスを通じて、チームワークの大切さと必要性、そして自らがリーダーシップを発揮しチームを創る力を学びます。</p> <p>本公演は、日本が誇る優れた文化・芸術分野の内容を正しく生徒たちに提供し、認知と理解を深めていただく絶好の、また得難い機会であると考えます。</p> <p>■ 次にこれまで学校巡回公演実施をさせて頂いた学校の<u>先生方の声を紹介</u>させて頂きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に踊る場面があつたり、反応を求められる場面があつたりと、参加型の公演であった。その為、発達段階の違う1年生から6年生までが90分間を集中して楽しい時間を過ごすことができた。</li> <li>ワークショップを含む本公演を通じて、直接体験や直接鑑賞することの大切さや、DVD等では得られない現代舞踊への興味・関心を高めること、身体表現をすることの楽しさなどを仲間とともに感じることができたようである。また、生徒の踊っている姿から、授業では見せない表情やダンスなどの身体表現能力など、生徒理解を行う良い機会となつた。さらに、今後、ステップや振り付けをはじめ教科である保健体育のダンスの学習等に活用が期待される。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちに質の高い芸術を体験・鑑賞する機会を与えることができ、たいへんありがとうございます。ワークショップから本公演という構成がなされていたので、子どもたちも抵抗なくヒップホップダンスに親しみ、リズムに合わせて自ら体を動かす楽しさを実感することができました。また、体育科の表現運動の指導にも役立つもので、大変に参考になりました。</li> <li>所狭しと舞台を駆け回る大きな動きや、激しい動きで見ている児童の視線を1時間半、途切れなく引きつけていた。また、ステージ上で踊るダンサーの本物の踊りを直に見ることによって、踊りのすばらしさを児童たちに感じさせることができた。</li> <li>予想を大きく超えた舞台、照明、音響装置なども本格的であり、学校独白で取り組むダンス教室などとは一線を画したプロのダンスを体験させることができ、実施して本当によかったという感想をもつた。</li> <li>全児童が踊ることに参加させていただいたが、全身を使ってのダンス表現、表情豊かに踊る姿など、児童の普段は見られない姿を垣間見ることができたことも収穫だった。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段学校に来れず、帰りも速足で帰っていた児童が、ダンサーの方との触れ合いがあつたのを機に、その日から手を振って帰るようになった。また、不登校の傾向の子どもたちも学校に来て、参加することができた。</li> </ul> <p>(巡回公演『これがヒップホップダンス!』フィードバックシートより抜粋)</p>

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイ】



## 学校コンサート(2026)構成(抜粋)

### - 日韓トップダンサーの競演 -

### 『これがヒップホップダンス！』

### 第1章ヒップホップダンス？ (15分)

- ① ロックダンスとは
- ② ポップダンスとは
- ③ ブレイクダンスとは

### 第2章ヒューマンビートボックス (10分)

- ・ボイスパーカッションの一種



### 第3章【THE BATTLE】 (20分)

- ①バトルの歴史と面白さ その戦いとは
- ②チームだ戦う チーム赤 VS チーム青



### 第4章みんなで踊ろう！！ (20分)

- ・みんなで踊ろう 全員参加で!!



項目内容

### 第5章 質問コーナー (10分~)

- ・質問会を通してダンサーと交流を深める
- ・児童生徒とダンサーとが別れがたい印象となる



### 終章 エンディング (5分)

- ・出演者全員登場
- ・ダンサー達の得意なテクニックを披露
- ・そして大団円を作り上げてゆく。

【総計90分】

#### 【出演者】 10 名

- ・ダンサー 日本 …ロックダンサー4名
- ・ポップダンサー 2名
- ・韓国 … ブレイクダンサー2名
- ・ヒューマンビートボックス… 1名
- ・司会 :女性 1名



※この演目では、次世代を担う多くの児童生徒達に世界に誇る日本の本物の芸術・文化と共に韓国のトップダンサーと文化芸術を身近に、目の前で触れ大きな感動や驚きを感じてもらいます。そしてダンスを通じ、互いを理解すること、体を動かす楽しさや充実感を大いに実感してもらうことを狙いとしています。



別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティベイト】

令和8年度公演出演者  
(予定)

## ■令和8年度公演出演者（予定）氏名：本名リスト

人数	芸名	本名
1	EGA	江頭 耕治
2	KITE	政井 海人
3	TOSHI	中澤 利彦
4	Katsuya	宮園 勝也
5	Satoru	秋山 悟
6	GEN	松本元樹
7	MIKU MIKU	橋口 未来
8	SOMA	KIM WOOJOONG
9	Spicy	KIM HYE WON
10	MC	四元 理菜

※順不同